

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。
調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための学習支援活動実施状況について報告します。

平成 26 年度 石狩川下流河川総合学習支援業務
調査船等を活用した学習支援活動 第 21 回



- ◇平成 26 年 10 月 6 日（月） 9:30～12:00
- ◇参加者 花川小学校 4 年生
児童 47 名 教諭 3 名

【学習コース】 弁天丸茨戸川上流コース（茨戸川艇庫船着き場→花畔大橋→水生植物群落 往復）

【学習行程】

時刻	学習内容		
	1 班	2 班	3 班
9:30～9:40	はじめの会（挨拶、学習内容説明、注意事項・トイレ等）		
9:40～10:20	弁天丸乗船	落ち葉アート	川の仕組み学習（模型）
10:25～11:05	川の仕組み学習（模型）	弁天丸乗船	落ち葉アート
11:10～11:45	落ち葉アート	川の仕組み学習（模型）	弁天丸乗船
11:45～12:00	おわりの会		

【学習内容】

- ◇弁天丸
 - 船上から川や鳥、植物などの自然を観察
 - カードを使って川の近郊にある施設探しとその役割を学習
- ◇落ち葉アート
 - 河川周辺の落ち葉を集めて作品づくり
 - 自然素材に親しむ
- ◇川の仕組み学習（模型）
 - 蛇行した川のおふれ方
 - 洪水の防ぎ方（ショートカット・堤防・遊水地・ダム・排水機場）

【参加者からのアンケート】

- ◇弁天丸で行った茨戸川や石狩川で、あなたが発見したものは何ですか
 - アオサギやシロサギ、カモ、カモメ、ていちあみ、カニなどを捕まえる箱。
 - カニなどをつかまえる箱を漁師さんがかいしゅうしている様子
 - 小さな鳥がいっせいに飛んでいく様子
 - 岸の近くに深さ 2m くらいまで根をはっている植物を見ました
 - 自分の家や学校が見えた
 - 橋の下をとおって、めったに見られない橋の裏を見ることができた

◇体験学習に参加して、もっと知りたいと思ったことは何ですか

- カニをつかまえる箱やいちあみのことも、もっと知りたいなと思いました
- 弁天丸のしくみや弁天丸の中のきかいのこともっとくわしくしりたいです。
- 昔の川のことをもっとしりたい

◇茨戸川や石狩川に次に来たとき、やってみたいと思うことは何ですか

- ていちあみやカニをとる箱をひきあげてみたい
- 他の植物や動物をたくさんみてみたい
- 弁天丸が船屋の中にはいるところを見たい

【実施状況写真】



自分たちの学校が見えてきました



橋の裏側はどうなっているんだろう



切って貼って…子供の創造力は無限大



世界で一つだけの作品



ダム役割について学びました



大雨の時の川の流れについて